

パオちゃん's EYE

2019年7月1日 発行 No.28

倉敷美観地区で淡水魚を観察しよう

令和元年の動物分野の自然観察会は、鳥取県南部町編と吉備中央町・高梁市編のふたつのブッポウソウ観察会のほか、倉敷美観地区を流れる倉敷川に生息する淡水魚の観察会を初夏編と秋編の二部構成で企画しました。

倉敷川は倉敷美観地区より児島湖へ注いでいます。元々は瀬戸内海の広大な干潟が次第に埋め立てられる過程で造られた、児島湾に通じる海水の入る運河でしたが、1959年（昭和34年）の児島湾の閉め切りによって淡水化されてからは河川となりました。水源は高梁川です。倉敷市酒津で取水された水が倉敷用水へと流され、美観地区の西で分けられた水が倉敷中央通りの地下を横切り、大原美術館の前で湧き出しています。そのため、倉敷川は町中から突然始まる特異な川となっています。

地元の古老のお話によると、かつて運河だった時代には大原美術館の前を海水魚のフグが泳いでいたそうですが、今ではオイカワやカワムツ、ヌマムツ、ヤリタナゴ、カネヒラ、コウライニゴイ、ゼゼラなどの淡水魚が泳いでいるのが観察できます。夜にはナマズやウナギなどが姿を見せ、夏にはアユが見られることもあります。観察会の初夏編は5月18日（土）に終了してしまいましたが、秋編は9月28日（土）に開催します。ぜひお申込みの上でご参加ください。倉敷美観地区の新たな魅力を発見していただけるものと思います。



水中撮影でとらえた魚たち

写真左：山野ひとみ氏、写真右：小橋理絵子氏



熱心に観察中の子どもたち

江田伸司(動物担当)

パオちゃんズアイに関するお問い合わせは

倉敷市立自然史博物館

〒710-0046 岡山県倉敷市中央2-6-1

電話:(086)425-6037 FAX:(086)425-6038

E-mail:musnat@city.kurashiki.okayama.jp

博物館ホームページには
いろんな情報がいっぱい♪
「倉敷市立自然史博物館」で
検索してみよう！ パオより

